

## 令和2年度第1回富山県障害者施策推進協議会 委員からの主な意見

日 時：令和2年8月21日（金）午前10時～午前11時30分

場 所：富山県民会館 401号室

## &lt;主な意見&gt;

・コロナの研修等が延期、中止になっているようだが、第5期の数値がずれてきて、第6期の数値にずれが生じてくるのではないか？

・コロナは当分続くと思われるので、計画自体に感染症等の項目を設けていただきたい。

・施設でコロナが発生した時の応援体制や施設間の連携についても考えていただきたい。

・数値目標に対しどのような事業でカバーするのか分かりにくい。

・色々な施設で介護人材が少ないということが問題になっており、基本理念に入っている「障害福祉人材の確保」の取組は非常に大切なことだと思う。

・就労した後もキーパーソンとなる方、アフターケアもできるような環境が必要だと思う。

・「医療的ケア児支援のための関係期間の協議の場の設置及びコーディネーターの配置」について、設置・配置で終わらず、中身をより柔軟に進めていただきたい。

・地域生活支援拠点等の整備も0箇所のみで目標値の4箇所までどうやって進めていくのか？

・第6期項目の新たな項目である「難聴児支援のための中核的機能を有する施設をつくる」という項目はどのような内容になるのか？

・地域移行を進める考え方があるが、障害者（児）入所施設の目標設定においては、実際のニーズを踏まえていただきたい。

・新たな計画を作るのであれば、「これはもうやめなければいけない」という議論も勇気をもってやるべき。